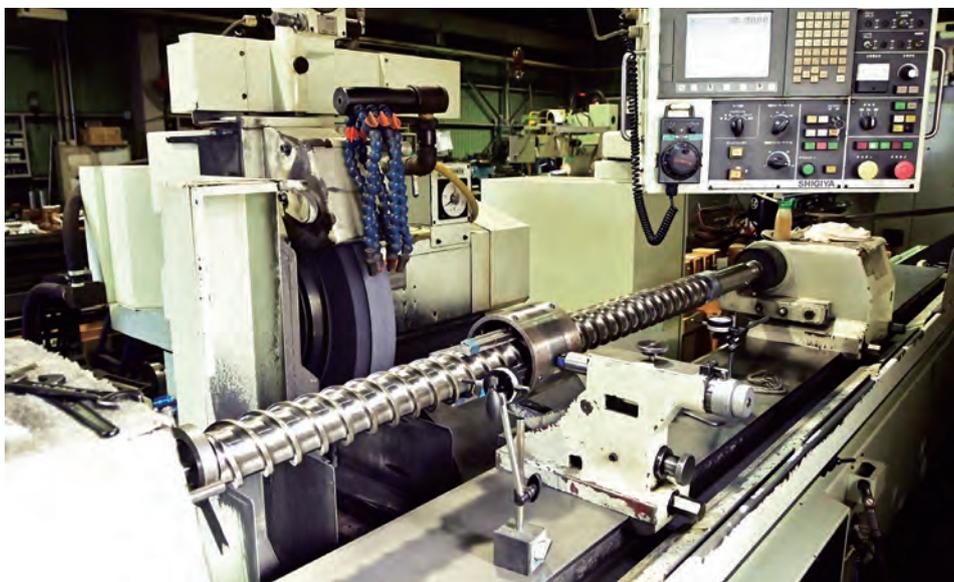


株式会社 高橋鐵工所

スクリーナー製造を中心とした
4軸加工を得意とする

納期相談
コスト相談
オンリーワン技術
メイドインジャパン
試作可小ロット
量産対応



φ450×5000Lの長尺ワークの加工にも対応する

主な事業内容

押出機用のスクリーナの製造

主な取引先(納入先)

押出機メーカー

主な製品

押出スクリーナ、
粉碎カッター、トラバーサ業務内容
4軸加工の
プロフェッショナル

高橋鐵工所は、押出機に使用されるスクリーナを特注で製造する。プラスチック用やゴム用、粉体計量用、食品向け、医薬品向けスクリーナを手がける。ほかにも粉碎カッターやクランクシャフト、トラバーサなどの部品加工も手がけた実績を持つ。昭和36年に押出機スクリーナ加工業として創業。フライス盤を改造するといった工夫をしながら、主にゴム用の押出機スクリーナを製造してきた。昭和59年に現社長の高橋茂樹氏が会社を引き継ぎ、マシンングセンターなどを使った加工に加え、自社で加工プログラム作成用のソフトウェア開発に注力し、事業拡大につなげている。

強み
自社ソフトとネットワーク
構築で生産性向上

4軸加工のプログラム作成は複雑であるがゆえ膨大な時間を要し、かつ実加工での失敗が少なくない。同社が開発したソフトウェアでは、スクリーナのタイプや形状ごとにテンプレート化することでプログラム作成の時間を大幅に圧縮。さらに、事前の加工シミュレーションにも対応させることで生産性を

高めている。

また、本社や工場にネットワークカメラを導入し、各工作機械の稼働状況やエラー状況、工程の状態をスマートフォンやPCから把握できる体制を構築。カメラを通して現場の状況をリアルタイムに確認できるためトラブルの早期発見が可能となり、品質向上や納期管理で成果を上げている。

生産管理
高い内製率を
生かした生産体制

切削加工において内製率が高いのも魅力の一つ。同社はマシンング加工だけでなく、旋盤加工やバフ研磨、外形研磨も手がけている。10年ほど前から研磨機を導入するなど、内製率の向上に努めてきた。現在は材料の手配から完成品までを一貫して請け負う体制が整っている。一貫請負により各工程の担当者間でコミュニケーションが取りやすいことが納期の調整や完成品の質の向上に生かされている。

今後の課題は、若年層や外国人の人材確保、技術継承および国家技能取得などの技術向上であり、その推進に力を入れ、さらなる短納期・品質向上をめざす。「顧客のどんな要望でも対応できる会社をめざしていく」と高橋社長は語る。

社長あいさつ

代表取締役
高橋 茂樹さん

“常に新しいものづくりに挑戦し、品質・技術の永続的 pursuit”という経営理念を軸に、4軸同時制御で加工できるものは何でも挑戦していきます。また、旋盤加工やマシンング加工などの各加工のプロフェッショナルを育てることに努め、会社の発展につなげていきます。

主な保有設備

- 大型NC旋盤 KLX 152×500
大日金属工業製 1台
- NC旋盤 DL65×500
大日金属工業製 1台
- 立型マシンングセンター(XYZ+A)
AJV-35 ヤマザキマザック製 1台
- 立型マシンングセンター(XYZ+A)
VS-4000M-40A
武田機械製 2台
- CNC円筒研磨機 GP-45D-500ND
シギヤ精機製 1台

大阪
04住 所 / 〒555-0043
大阪市西淀川区
大野1-8-22

TEL / 06-6474-0379

FAX / 06-6474-8038

創 業 / 昭和36年3月

設 立 / 昭和36年3月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 17名



完成した光沢ある長尺スクリーナ



4軸同時制御の螺旋加工が行える


<http://takahashi-ironworks.com/>